



大谷、五十嵐美彦・美実さんの長男＝1歳



東柏ヶ谷、奥野彰史・智恵子さんの長女＝1歳



東柏ヶ谷、末永公一・亜季さんの2男＝1歳



中野、中島久晴・幸子さんの長男＝1歳



上今泉、櫻井道雄・珠美さんの2女＝1歳1カ月



国分北、砂田栄志・千草さんの長男＝1歳1カ月



上今泉、鈴木重晴・智恵子さんの2男＝1歳1カ月



門沢橋、浅井雅之・ゆかりさんの長男＝1歳2カ月

まんまる赤ちゃん



▲大変、でも楽しかった図書館員

8月2日～8日、有馬図書館で、市内小学生32人が「1日図書館員」に。パソコンを使った本の貸し出し、書棚の整理などを体験しました。

フォトピククス

▲花火大会の翌朝ごみ10ト

あつぎ船まつり翌日の8月5日、海西中学校の生徒ら300人が相模川河畔の清掃を行い、可燃ごみやペットボトルなど約10トを回収しました。



このコーナーに掲載を希望する方は…電話で広報広聴課(内271)へ。ただし、申し込み時点で1歳未満の赤ちゃんに限りませんので、お早めにごぞ。紙面の都合で掲載できない場合もあります。

▽場所 海老名警察署北側 ▷撮影日 7月22日 上今泉在住・嶋田和人さん撮影



▽場所 海老名中央公園 国分南在住・柑子木友子さん撮影



みなさんからの作品

海老名の夏風景



▲親子で夜の市内をウォーク

7月28日、市役所をスタート・ゴールにナイトウォークラリーが行われ、地図と懐中電灯を携えた330人が、市北部を巡る9kmのコースに挑戦しました。(撮影=広報まちかどカメラマン 荻原利雄)

楽しい仲間

ネバー・ギブ・アップが信条 南関東支部夏季大会で準優勝 海老名リトルシニア



「結果は準優勝だったけど、納得がいったトーナメント戦でした。すべての試合が最高に盛り上がり、特に3回戦ではチーム全員に『最後まであきらめない』という気持ちがあつて、逆転勝利できたときは本当にうれしかった」と話すのは海老名リトルシニア(飯塚良二監督、選手54人の面々。同チームは先月20日、保土ヶ谷球場(横浜市)で行われた「シニア南関東支部夏季大会決勝戦」で「横浜泉」と対戦、接戦の末、5対6で惜しくも優勝は逃したものの結成後1年未満のチームとしては、すばらしい結果を残しました。

試合重ね「ねばり」もついた

の硬式野球チーム。小学生の軟式野球チームで構成された少年野球連盟の選手やその保護者たちの要望で、去年10月に結成されました。

甲子園出場が目標、という選手が多く、週2回の練習も全員が積極的に参加。人前では見せずにみっちり基礎練習を続けている子もいて、飯塚監督は、そんな選手一人ひとりの素質を尊重し、のびのびと自分の力を発揮できるように指導を心掛けてきました。その成果は試合経験を重ねるたびに現れ、どの選手も打撃や走塁、守備に「ねばり」が出てきたそうです。

「最後まであきらめない、という飯塚監督の口癖が、今大会では準優勝というかたちで現れました。今後も「ネバー・ギブ・アップ」をチームカラーとして頑張っていく」と、海老名リトルシニア野球協会会長の金井務さん。これからの活躍が期待できます。

わかば作業所にある売店の名前は「わかばリトルガーデンおひさま」。地域のみなさんが憩える場にと、この名が付けられたのだそうで

編集後記

す。店番を務める障害者の方々が、集まったお客さんと楽しそうに接している様子は、とてもさわやかに感じられました。(康)